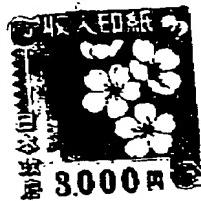


公開実用 昭和54-134849



(3000円) 実用新案登録願 (3) 後記号ナシ

昭和 53年 3月10日

特許庁長官 殿

1. 考案の名称

サキトタシタ ハイワギテ
スライド式等速自在棘手

2. 考案者

埼玉県川越市小ヶ谷266-13
カタノブノブニキ

大塚伸之

(ほか 1名)

3. 実用新案登録出願人

東京都渋谷区神宮前6丁目27番8号

532 本田技研工業株式会社

代表者 河鳥喜好

(ほか 1名)

4. 代理人

東京都港区新橋2丁目16番1 ニュー新橋ビル703

6002 代理士 北村欣一

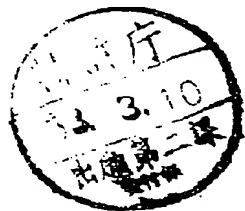
(ほか 2名)

電話 503-7811番(代)

54-134849

53 029660

審査部
審査課



BEST AVAILABLE COPY

明細書

1. 審案の名称

スライド式等速自在轍手

2. 實用新案登録請求の範囲

アウタ部材(1)に軸轍方向の円筒状の案内溝(2)の8本を並設すると共に、その内側のインナ部材(3)に半径方向の軸片(4)の3本を突設して、各軸片(4)をこれに嵌合される球面ローラ(5)において各案内溝(2)内にこれに沿つて滑動自在に嵌合せる式のものにおいて、各球面ローラ(5)の内径円筒面(6)と、これに嵌合される各軸片(4)の外径円筒面(7)との間に、該ローラ(5)の該案内溝(2)に沿つた滑動方向の少許の隙間(8)を存せしめることを特徴とするスライド式等速自在轍手

3. 審案の詳細な説明

本審案は主として前輪駆動式の自動車に適用されるトリポート型のスライド式の等速自在轍手に関する。

従来この種轍手として、例えば第1 図示のようにアウタ部材・に軸轍方向の円筒状の案内溝。

(1)

54-134847

の 3 本を並設すると共にその内部のインナ部材(3)に半径方向の軸片(4)の 3 本を突設して各軸片(4)をこれに嵌合される各球面ローラ(5)において各室内溝(6)も内にこれに沿つて滑動自在に係合させる式のものは知られるが、このものでは両部材(3)、(5)が全図示のようにその軸線において直に屈曲して動力伝達が行われる場合を考えるに、第 2 図示のように各ローラ(5)は点 P から点 P' と、点 Q から点 Q' と、点 R から点 R' とに夫々運動し、次でその反対方向に運動することが繰返されるもので、かくて各ローラ(5)に作用する押圧力を考えると、図面で左方に F_1 と F_2 とが存する一方、図面で右方に F_3 が存して互に不均衡となり、その反力がインナ部材(3)に軸線方向の押圧力として作用して振動の原因となる。

本考案はかかる不都合を無くす措手を得ることをその目的としたもので、アウタ部材(1)に軸線方向の円筒状の室内溝(2)の 3 本を並設すると共に、その内部のインナ部材(3)に半径方向の軸片(4)の 3 本を突設して、各軸片(4)をこれに嵌合さ

れる球面ローラ(5)において各案内溝(2)内にこれに沿つて滑動自在に係合させる式のものにおいて、各球面ローラ(5)の内径円筒面(6)と、これに嵌合される各軸片(4)の外径円筒面(7)との間に、該ローラ(5)の該案内溝(2)に沿つた滑動方向の少許の隙間(8)を存せしめることを特徴とする。
第3図乃至第6図はその1例を示すもので、アウタ部材(1)とインナ部材(3)とは互に両外側にのびる各運転輪(9)を有するものとし、その一方は例えば自動車におけるエンジンに連動するトランスミッションの出力軸を構成し、その他方はその側方の車輌に連る車輪軸を構成する。各球面ローラ(5)の内径円筒面(6)と、各軸片(4)の外径円筒面(7)との関係は例えば第6図に明示する通りであり、内径円筒面(6)は断面略真円に作られるに対し、外径円筒面(7)は断面において、球面ローラ(5)の案内溝(2)に沿つた滑動方向(圓面矢示)において少しく小径の偏平円に作られ、かくてその前後には少許の隙間(8)(8)を存するようにし、従つて球面ローラ(5)はこの隙間(8)(8)の

範囲内において軸片(4)に対し矢示方向の移動を許容されるようにした。

その作動を説明するに、アウタ部材(1)とインナ部材(8)とはその一方の迴転に際しその他方がこれと等速で迴転し、かくて両部材(1)(8)間に等速性の動力伝達がなされること、更に両部材(1)(8)がその軸線において互に屈曲する状態では各球面ローラ(5)は各案内溝(2)内を往復運動すること、更にこの際2個の球面ローラ(5)(5)は一方向と1個の球面ローラ(5)は他方向とに各押圧力を作用されて不均衡を生ずること等は従来のものと特に異らないが、かかる作動に際し各球面ローラ(5)と各軸片(4)とはその嵌合面(6)(7)間に前記した滑動方向の少許の隙間(8)が存するもので、かくて各ローラ(5)は各軸片(4)に対し多少ともその方向に移動することを許容され、これは、各ローラ(5)と各軸片(4)との間の相互の押圧力の減少に有効に作用し、かくてその不均衡に基く押圧力、従つてそれに伴う振動の発生が著しく減少される。

このように本考案によるとときは、各球面ローラ(5)を各輪片(4)上において少許それに対し移動するこことを許容されるもので、各ローラ(5)と各輪片(4)との間の相互の押圧力をこれに吸収して減少させることが出来、従つて該押圧力の不均衡に伴う振動の発生を著しく減少させ得られる効果を有する。

4. 図面の簡単な説明

第1図は従来例の斜面図、第2図はその慣動の説明線図、第3図は本案稚手の1例の斜面図、第4図はインナ部材の正面図、第5図はその側面図、第6図は第4図のⅠ—Ⅰ線裁断の拡大した断面図である。

- (1) … アウタ部材 (2) … 案内溝 (3) … インナ部材
- (4) … 輪片 (5) … 球面ローラ (6) … 内径円筒面
- (7) … 外径円筒面 (8) … 距間

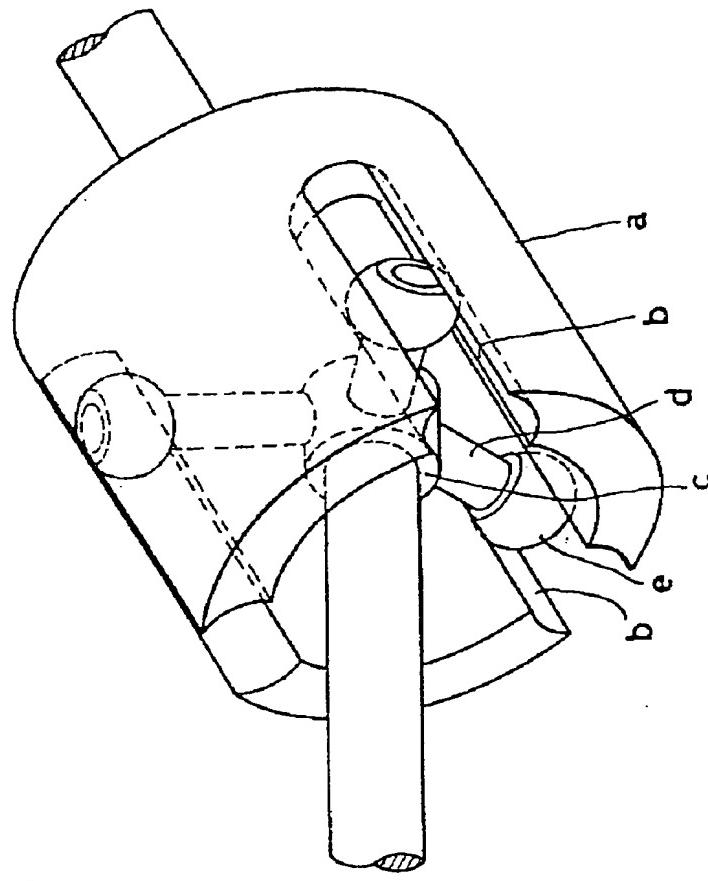
实用新案登録出願人 本田技研工業株式会社

代 理 人 北 村 放 一

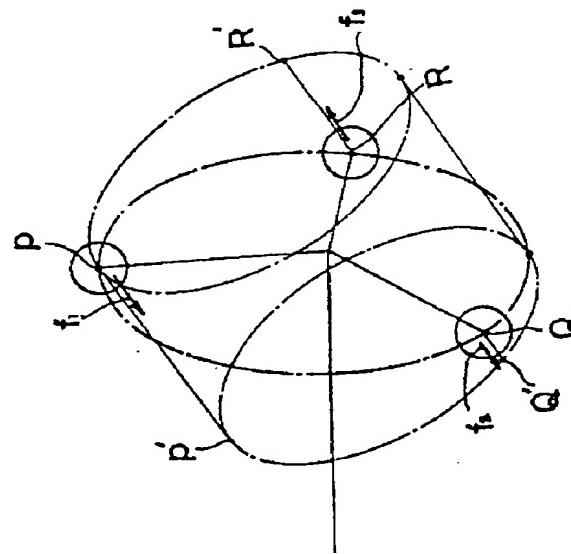
外 2名

公開実用 昭和54-134849

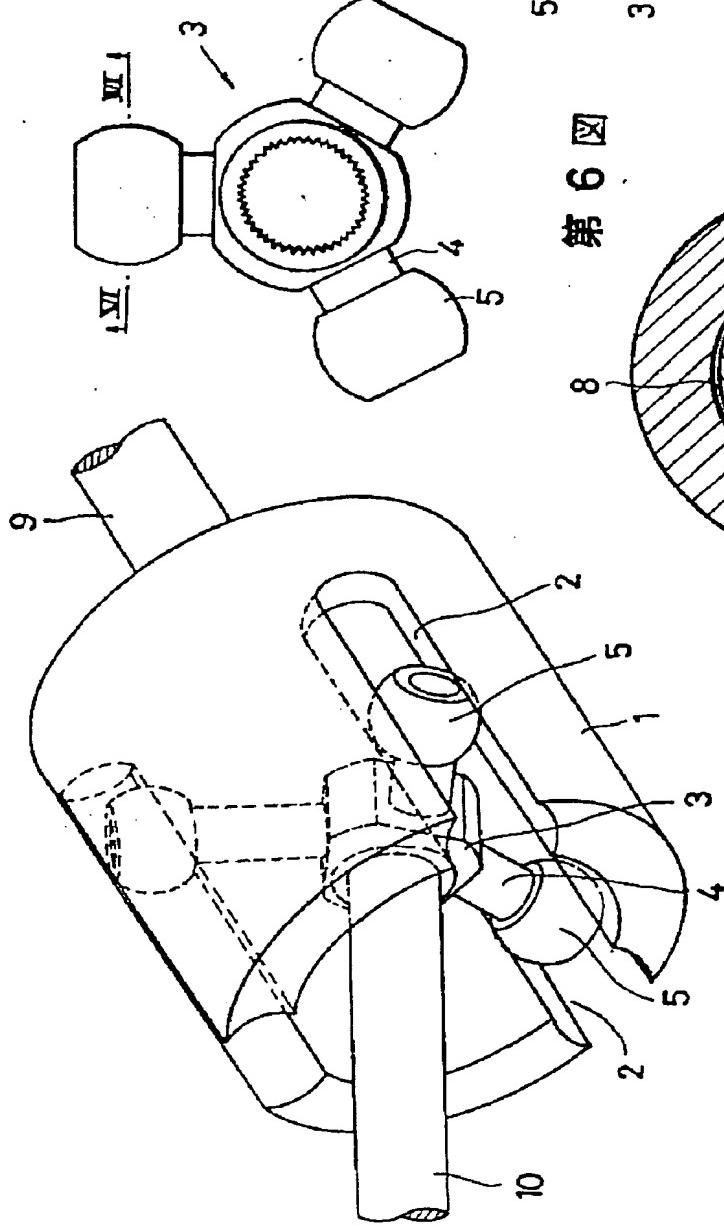
第1図



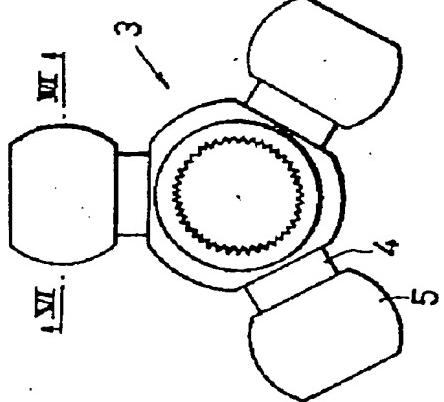
第2図



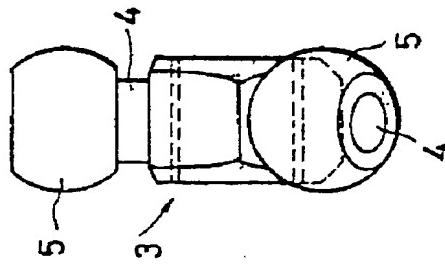
第3図



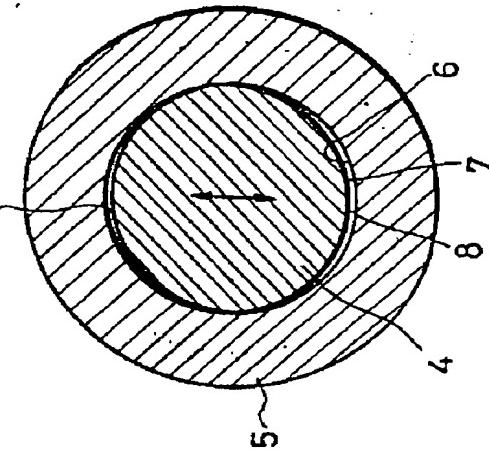
第4図



第5図



第6図



代理人 北村 康一
電話 248

134849 2/2

公開実用 昭和54-134849

5. 添付書類の目録

- | | | |
|-------------|---|----|
| (1) 明細書 | 1 | 通達 |
| (2) 材料記載表 | 1 | 通達 |
| (3) 脚注記載表 | 1 | 通達 |
| (4) 表紙 | 1 | 通達 |
| (5) 出願審査請求書 | 1 | 通達 |

(各別紙)

6. 前記以外の考案者、実用新案登録出願人または代理人

(1) 考案者

埼玉県狭山市狭山谷1-51-1-7~10番
平井誠一

(2) 実用新案登録出願人

(3) 代理人

東京都港区新橋2丁目16番1 ニュー新橋ビル703

6432弁理士北村和男

16

7067弁理士鎌田薰

17

54/134849

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- BLACK BORDERS**
- IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- FADED TEXT OR DRAWING**
- BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- SKEWED/SLANTED IMAGES**
- COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- GRAY SCALE DOCUMENTS**
- LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.